



さすなべみず 差首鍋のすず水

真室川町大字差首鍋



〔管理者〕 瀧應寺 〔保全団体〕 滝の上地区

ポイント

真室川町差首鍋の滝ノ上地区に、石造りの水場から澄んだ水が流れ出ている。この湧水の隣には地蔵様があり、延命地蔵として古くから知られている。この水を飲んで生活していた地域住民が、病に掛かりにくく長生きしたことから「延命水」とも呼ばれている。

差首鍋という地名の由来は諸説あるが、戦国時代この地は最上と庄内を結ぶ戦略的要衝であった。当時、最上義光軍が沓沢玄蕃の居城を包囲して城内を水不足にするべく企てたが、城内に湧水があり降伏しなかった。やがて湧水も枯れ細り、玄蕃の家来たちは次の手として、城壁の窓から「首」を「差」し出すように「鍋」を吊るしては眼下を流れる大沢川の水を汲み上げ、生き長らえたことから「差首鍋」となったという。



アクセス

 (北緯38.920745°、東経140.199982°)

真室川町役場より国道344号を酒田方面に10km程進む。町営バス停の「中村橋」がある十字路を左折し、滝ノ上地区集落内を100m程直進し、瀧應寺境内の下にある。

